



Christmas Special Calender

金城学院大学

第17回クリスマス ハンドベルコンサート

出演 / 大学ハンドベルクワイア
 日時 / 12月2日(土)
 16:45開場 17:30開演
 場所 / 愛知県芸術劇場
 コンサートホール
 曲目 / クリスマス・フェスティバル、
 花のワルツほか
 入場券 / 1,500円
 チケットぴあ Pコード 238-259
 (TEL.0570-02-9999)
 お問い合わせ / 平日9:30 ~ 17:00
 ハンドベルクワイア部室
 (TEL.080-3650-8443)
 未就学のお子さまの入場はお断りし
 ております。

クリスマスin トヨタ会館2006

出演 / 大学ハンドベルクワイア
 日時 / 12月9日(土)15:30 ~ 16:00
 場所 / トヨタ会館
 (トヨタ自動車本社地区内)
 入場無料

大学クリスマス礼拝



出演 / アンサンブル・フリーデン、ク
 ワイア、ハンドベルクワイア、
 クリスマス特別管弦楽団、
 クリスマス特別合唱団
 日時 / 12月14日(木)
 17:00 ~ 18:00
 場所 / 大学ランドルフ記念講堂
 入場無料 (会場に献金箱を設置さ
 せていただきます。)
 どなたでもご参加いただけます。

クリスマス・ ハンドベルコンサート

出演 / 大学ハンドベルクワイア
 日時 / 12月17日(日)
 15:30、16:30
 場所 / 中部国際空港セントレア
 4Fイベントプラザ

クリスマスコンサート

出演 / アンサンブル・フリーデン
 日時 / 12月17日(日)
 14:00
 場所 / 大府キリスト教会

聖夜のミュージック

出演 / 大学クワイア
 日時 / 12月20日(水)・21日(木)
 20日 18:30、19:30
 21日 18:30、19:30
 場所 / 名古屋マリOTTアソシア
 ホテルロビー
 曲目 / クリスマスソングメドレー

金城学院高等学校

キャロリング

出演 / 高校グリークラブ
 (中学グリークラブも出演します。)
 日時・場所 /
 12月9日(土)
 12:00、15:00、17:00(予定)
 中日ビル・1Fエスカレーター
 12月22日(金)17:15
 公立陶生病院外来棟待合ホール
 12月23日(土)時間未定
 ラシック
 このほか幼稚園、教会、病院、老
 人ホームなどでのキャロリングも計
 画しています。

ハンドベルクワイア 定期演奏会

出演 / 高校ハンドベルクワイア
 (大学及び中学ハンドベルクワイア
 も賛助出演します。)
 日時 / 12月22日(金)
 17:30開場 18:00開演
 場所 / 中電ホール
 曲目 / 組曲 シングルベルロック、
 レッツタンゴほか
 入場無料



クリスマス・ハンドベル

出演 / 高校ハンドベルクワイア
 日時・場所 /
 12月17日(日)11:00
 教団南山教会礼拝奉仕と
 クリスマスコンサート
 12月24日(日)
 9:30 教団名古屋新生教会
 クリスマス礼拝
 14:00 教団名古屋西教会
 クリスマス祝会
 18:30 名古屋バプテスト教会
 キャロル・サービス
 12月25日(月)14:00、16:00
 ラシック・クリスマスステージ

金城学院中学校

クリスマス・ハンドベル



ハンドベル演奏を各所で行います。
 出演 / 中学ハンドベルクワイア
 日時・場所 /
 12月16日(土)15:30
 NTT西日本東海病院(クリスマス会)
 12月17日(日)14:00
 栄聖書教会(クリスマスコンサート)
 12月22日(金)18:00
 中電ホール
 (高校定期演奏会賛助出演)
 12月23日(土)13:30
 名古屋教会
 (手をつなぐ親子クリスマス会)
 12月24日(日)13:00、14:00
 明治村
 明治村入場券が必要です。

金城学院幼稚園

クリスマス夕拝

日時 / 12月16日(土)14:30
 場所 / 大学ランドルフ記念講堂
 プログラム /
 礼拝
 大学ハンドベルクワイア
 ミニコンサート
 年長児キャロリング
 17:00より名鉄瀬戸線
 大森・金城学院前駅にて

国際バレエコンクールで銅メダル獲得

高等学校3年の佐々部佳代さんが、アメリカ・ミシシッピ州で7月2日まで開かれていた「第8回USA国際バレエコンクール」ジュニアの部で、銅メダルを獲得しました。

同コンクールは、4年に1度開催される若手の登竜門としては世界でも指折りの大会。その大舞台上、佐々部さんは毎日二時間以上の練習を欠かさず積んできた成果を堂々と披露しました。また、輝かしい成績を収めたことを受け、愛知県私学協会より10月27日に文化関係表彰が佐々部さんに授与されました。



◀国際舞台上で遺憾なく実力を発揮（右端が佐々部佳代さん）

第55回メサイア演奏会

第55回を迎えるメサイア演奏会が、今年も盛大に行われます。生徒たちの練習を重ねた成果を、ぜひお聴きください。

■日時／11月25日（土）16:00～

■場所／愛知県芸術劇場コンサートホール

■入場券／自由席 1,500円

■お問い合わせ／高等学校事務室

TEL.052-931-6236



70歳で博士号を取得

本学大学院で学んだ樋口美智子さんに9月26日（火）、博士号が授与されました。70歳での博士号取得となり、本学では最高齢です。

博士論文のテーマは「日本の宗教と笑い」。宗教と笑い是对立概念と捉えられる場合が多いのですが、日本では宗教の中に多様な



笑いが受け入れられています。樋口さんはそれが、なぜなのか様々な角度から中世キリスト教と比較・分析してまとめられました。

担当した人間科学部の森下伸也教授は、

その内容について、「個々の宗教について分析した論文はありますが、ひとつにまとめたものは今までになく、独創的」と高く評価しています。

樋口さんが高校を卒業したのは1954年。それから三十数年の歳月を経て大学に入学。卒業後に本学大学院に進みました。論文を書き始めたころには、ご主人のお母様を介護するようになったため、中断することも考えましたが、400字詰め原稿用紙にしておよそ700枚におよぶ論文を書き上げました。

「これまで学んできたことに、一つの区切りをつけることができました」と、樋口さんは博士号を取得した感慨をあらわすとともに、今後については「毎日が出発と思っているの、これで終わりではなく、今後も関心があるテーマに取り組んで行きたい」と意欲的。もともと勉強するのがお好きだそうで、森下教授は「知的好奇心が旺盛なのが、若さの秘訣なのでしょう」と目を細めていました。

2006年度 聖句標語

主に望みをおき尋ね求める魂に

主は幸いをお与えになる。 哀歌 第3章25節

クリスマスのお話

「バラはなぜという理由なしに咲いている / バラはただ咲くべく咲いている。

バラは自分自身を気にしない / ひとが見ているかどうか問題にしない。」

ヨーロッパの神秘主義者アンゲルス・シレジウス（1624～1677）の詩です。「バラ」を詠うことによって、シレジウスは神について語っています。「なぜという理由なしに」（ohne Warum）存在するのは、神だけであります。この「バラ」は、自分自身のことさ「気にしな

い」ほど、無碍^{むげ}の存在です。自分を摘もうとする少年に「君を刺すぞ」と脅す、ゲーテのあの「野バラ」とは違います。

しかし、自分自身のことさ「気にしない神ですが、神は人間のことは気にしました。それも、ご自分の自由を棄て、へりくだり、人間になるまで。

人間に対する神の愛、そこにも「なぜという理由」はありません。神は「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、雨を降らせてくださいます。」

クリスマスの祝福と喜びが皆様に豊かにありますように。（人間科学部宗教主事 金 承哲）

金城学院同窓会 みどり野会より

社会人としての出発の朝
ウェディングベルを鳴らす幸せの時
年を重ねた心穏やかな昼下がり

どの瞬間も貴女と
つながっています

【編集後記】

前号編集後記にも触れたが「生き方の学び」こそは、学ぶべき根幹と考えている。学院の各校が掲げる、「いのち ころこ いやし」「強く、優しく。」「自立 自律 連帯」などのキーワードはそこにつながっていると受け止めている。ところで私は、人類の進化は「大脳の進化であった。」という話にうなずいている一人である。他の様々な動物たちは、環境に順応し生き残るためキリンや象のように特に身体の一部を進化させてきた。一方人類は身体能力の一部の特化より大脳の進化に全ての重点を置く選択をしたというのである。そうであれば、私たちは生きる技術・器具そのものより、いかに生きるかを学び進化させなければならないと思う。このたび本学の「個重視・女性のためのキャリアサポート」が、文部科学省による「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に選定されたことは、その企画が、生き方の学びが大切であると評価されたことの証として励みとなる知らせだった。また本号の「筒井佳美さんの生涯」の記事や「被爆アオギリ」の学びなども「生き方の学び」として、心につなぎとめておきたいものである。

本誌「with Dignity」は、金城学院のホームページ（<http://www.kinjo-gakuin.jp/>）でもご覧いただけます。ご意見、ご感想をお寄せください。

（また、現在お送りしております方で、住所変更や購読中止を希望される方もホームページからご連絡ください。）

with Dignity = 金城女学校・第6代校長 エラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として "You must have dignity" と話しかけたことに由来しています。"dignity" は、尊厳・品位の意。